

(別紙4(2))

事業所名 おおらかハウス

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 3 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	緊急時の対応や日常的な医療処置についてこれまでは医療関係者が身近にいなかったため嘱託医師の指示を必要に応じて受けて経験に基づいて行ってきたが、心もとなく、緊急時は特に手探り状態で対応してきた。そのため一貫性に欠けたり職員間の意思疎通にも問題があった。終末期の対応については取り組めていない。	・訪問看護師との連携により職員全員が求められている医療的ケアを適切に行えるようになる ・吸引行為ができるようになる ・ターミナルケアについて認識を深める	① 医師との連携を図りつつ介護職員に可能な医療処置を適切に全職員が行えるようになること ② 緊急時の対応をマニュアル化し全職員で周知、対応できるようにすること ③ 終末期への備えとしてのマニュアルを看護師、職員が協議し作り上げること ④ 職員が吸引行為ができるよう各種研修に参加する	12ヶ月
2	26	介護計画とモニタリングへの家族の意向を直接聞き取って反映できていない。またご家族とのやりとりや見直した内容、計画設定に至った経過など記録に残していない	・家族の意向を直接反映した介護計画を作る ・モニタリングをふくめ経過について記録を残す	① 介護計画の見直しについて家族の意見を聞く機会を設ける ② 聞き取った内容を見直しの参考にし職員間で話し合い計画を作成する ③ 立てた計画を家族に説明し意見を聞く ④ 家族の意見を踏まえて介護計画を作成し家族の理解を得る ⑤ この一連の流れに沿った経過を記録に残す	12ヶ月
3	11	介護に関する職員間の微妙な係わり方の違いが表面化してきている	・職員同士が気軽にそれぞれの思いや意見を言い合えるような関係作りを進め係わり方の統一化を図る	① 事務室に意見箱を設け日ごろの思いやその時々他職員との介護上のギャップなど率直に投書する ② その意見や思いを会議の中で取り上げ率直に皆で話し合い相互の意思疎通を図ることで共通認識に基づいた介護に取り組む ③ 話し合っって築いた共通認識により実践化した結果についての評価を共有し次の取組みに生かしていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。